

① 目的

- ・この地域で災害が起きたらどうなるか？
- ・災害の時にどう逃げるのか？
- ・災害の時にこの地域で何が役立つのか？
これを知って **全員で自主防災を考える土俵** をつくること

◎ 災害をイメージする

地図を囲んで みんなで災害をイメージして 課題を発見し
災害対応や事前の対策を検討します

- ・**災害を知る** →どこで どのくらいの規模で どのような災害が予想されるか
- ・**街を知る** →自分たちの住む街がどのような街なのか
- ・**人を知る** →いざという時、頼りになる人 手助けが要る人はいないか

○ 本ゲームの想定 → 共通の目標を設定しましょう

- 前提条件 その1 南海トラフの地震 震度6強 津波警報 津波:地域想定高**
- 前提条件 その2 別府湾の地震 震度6強 津波警報 津波:地域想定高**
- 前提条件 その3 台風13号 記録的豪雨 避難勧告 土砂災害警戒情報**

② 進め方

- ・地域の特徴や災害の被害予想などを地図上で色分けします
- ・避難場所や災害時、役立ちそうな施設や物について皆で話し合います

③ 守ること

- ・**楽しく自由に** 話し合う →他人の意見に反論せず皆の意見を聞きましょう
- ・**前向きに** 話し合う →「できない」ではなく「どうしたらできるか」を考えます
- ・**プライバシー**を他言しない→知られたくない情報もあります。参加者以外には話さない！

④ 作業を始める → → → → → → → → → → → → → → **右ページへ！**

⑤ まとめる ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← **右ページから**

- ☆ 明らかになった課題、問題点に対して、実際に **どのような事前対策や災害時の対応をしていけばいいのかを検討しましょう**
- ・ハード面 → 危険箇所の把握、危険箇所の補修など
- ・ソフト面 → 個別支援対策など（誰が誰を助ける?）
- ☆ 平常時にしておかねばならないこと
非常持ち出し品の確認（何日間か、家に帰れないことを想定して準備しておく）
- ☆ 避難時にしておかねばならないこと
電源ブレーカーの断 ガス元栓の断

☆ **実際に街歩きして 認識・確認したことを再確認しましょう！**

④ 作業を始める ★白地図の該当部分に 下記 指定された色を塗る（またはシールを貼る）

④ 作業を始める ★白地図の該当部分に 下記 指定された色を塗る（またはシールを貼る）

1 自然条件を確認する

	緑色	道路、広い道路、幅4m以上	避難 輸送 延焼
	ピンク色	路地、狭い道路	避難 輸送 延焼
	黒色	鉄道	避難 救助の妨げ
	水色	川、池、ため池、用水路 等	消火 生活用水
	黄色	広場、公園、オープンスペース（学校 神社 お寺 空地等）	

2 人、施設を確認する

	赤丸シール	転倒、倒壊、流出 等 危険と思われる施設 (橋、階段、自動販売機、電柱、ブロック塀 古い建物等)
	黄丸シール	災害時 要援護者 (一人暮らし高齢者、障害者、妊婦、乳幼児とその母親 等)
	緑丸シール	災害時、役立つ施設、設備 (消火栓、古井戸、薬局、商店、公民館、建設会社、GS 等)
	青丸シール	役立つ人材、組織 (自治会、防災会、民生児童委員、看護師、福祉士 等)

3 地震、津波のとき危険な場所

	水色斜線	津波の浸水範囲
	橙色斜線	がけ崩れ危険箇所

4 台風、大雨のとき危険な場所

	水色点々	洪水浸水範囲
	黄色点々	土砂災害危険箇所

☆過去の災害事例
☆ハザードマップ
からも危険区域を確認する
・津波や洪水で浸水の恐れがある区域
・がけ崩れや土石流の恐れがある区域
・液状化の恐れがある区域 など

5 避難場所

	青色	一次避難地 一時避難場所（地域で設定）
	青色	指定避難所（市が指定）
	青色	地域避難所（住民が任意に設置）指定避難所に避難所登録要

6 避難路

- ☆ **安全だと考えられる避難路を特定（自宅）から赤色線で2本以上引く**
- ☆ **進む方向に赤色矢印を記入する**
- ・避難の際に危険箇所はないですか？
- ・危険な箇所は全員で認識共有しましょう！
- ・地域の課題、問題点を整理、認識します！

**課題を出しあい自由に
意見交換しましょう！**